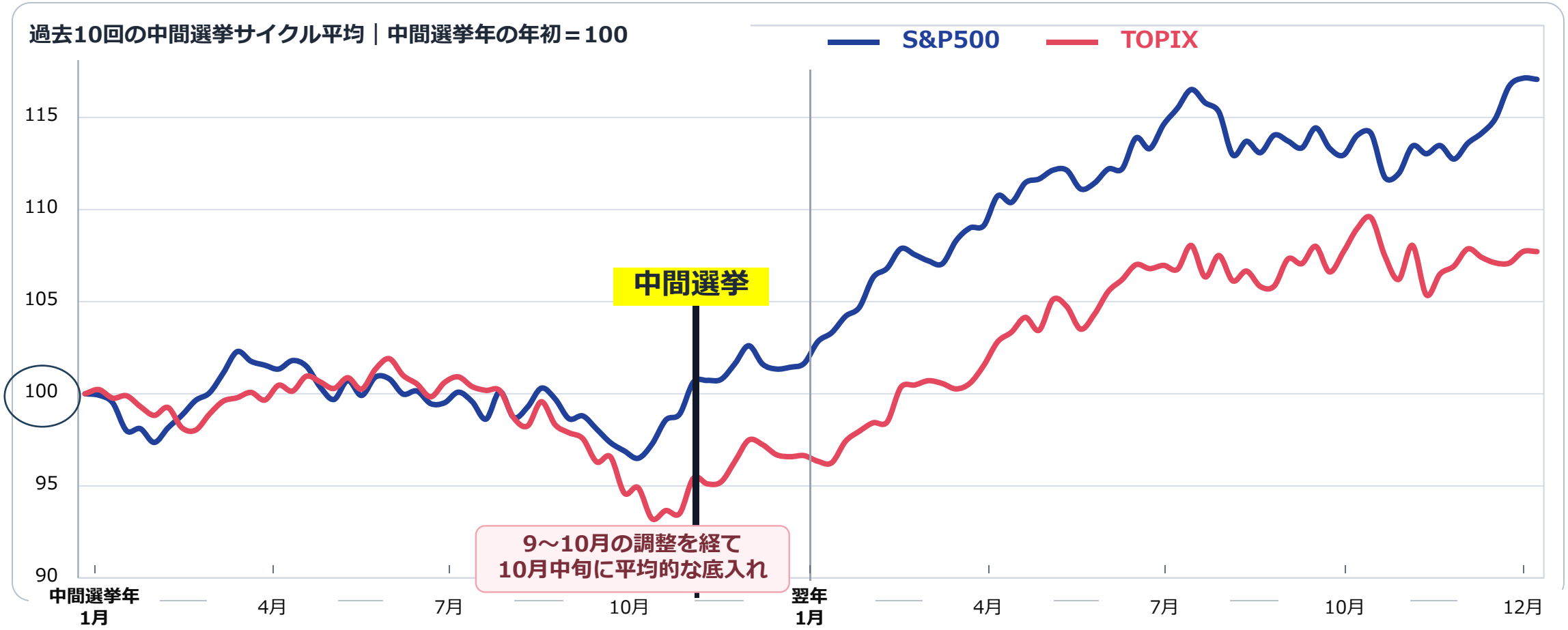
中間選挙年は「10月底・翌年高」の傾向

過去10回平均では、日米株とも秋の調整後に反転し、翌年末にかけて上昇



10月の平均安値	翌年末の平均水準	中間選挙年10月底値 → 翌年末の上昇率
S&P500 95.7　TOPIX 93.2	S&P500 117.1　TOPIX 107.7	S&P500 +22.3%　TOPIX +15.6%

注：中間選挙年＝1986、1990、1994、1998、2002、2006、2010、2014、2018、2022年

出所：長期市場実績（中間選挙年から翌年末までの株価指数推移平均）より作成

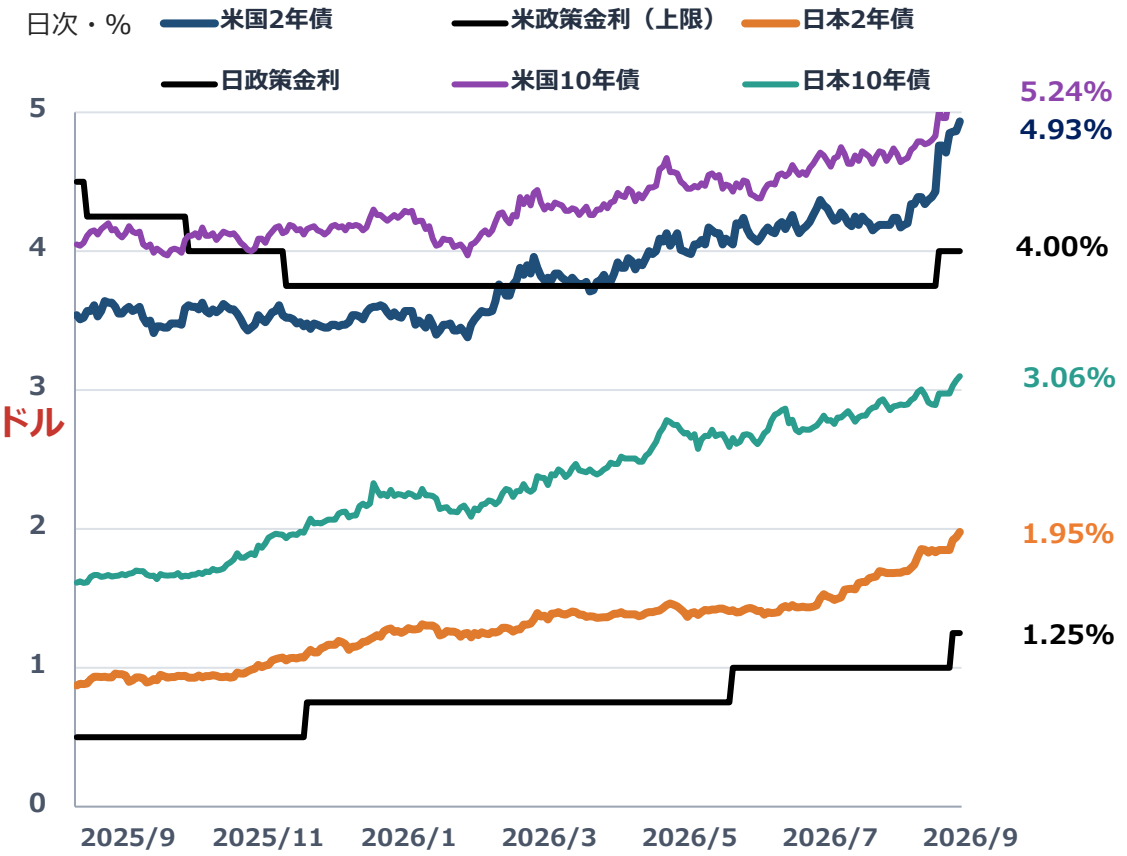
リスク資産市場の重石となる原油高と金利高

中東情勢を受けてWTI原油先物は90ドル台、米10年債金利は節目を突破して上昇

WTI原油先物相場（過去1年）



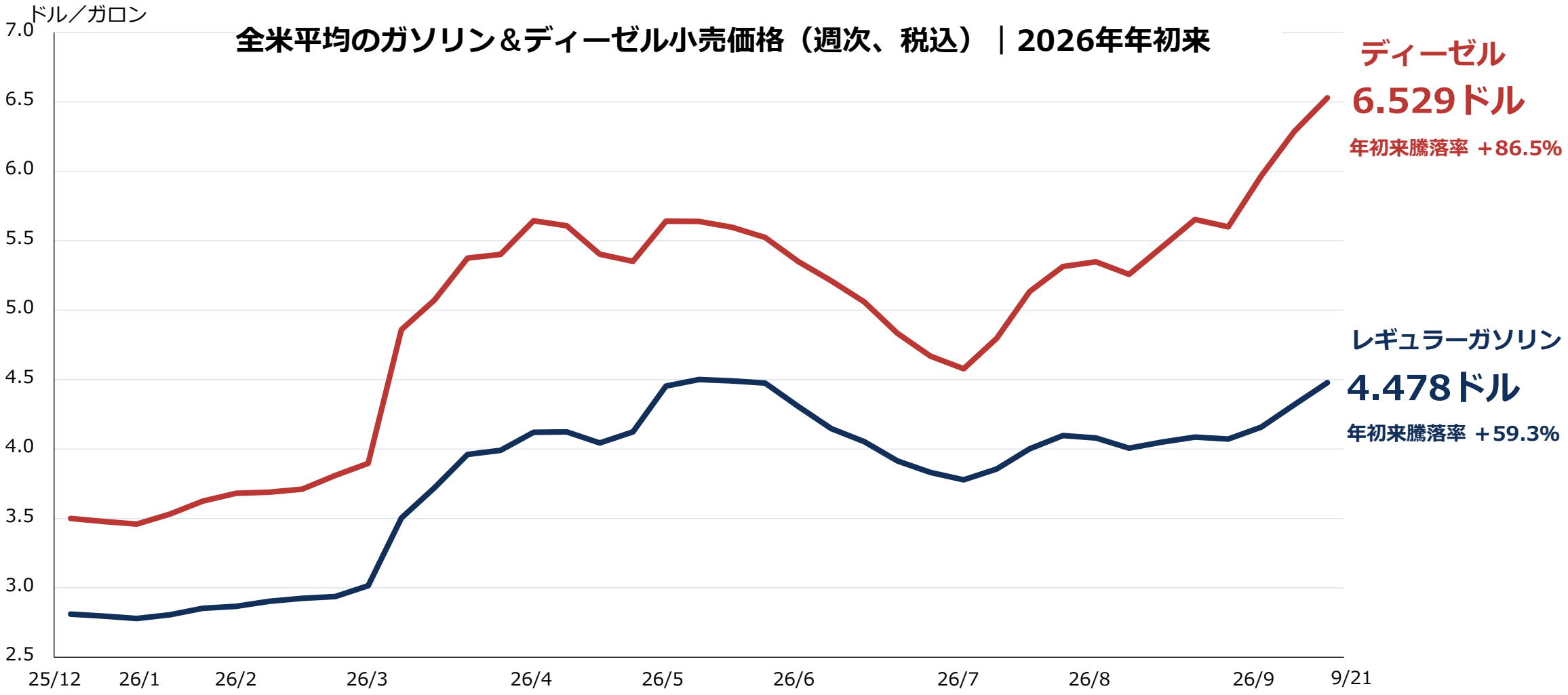
日米の政策金利と2年・10年債利回り（過去1年）



注：米国債・WTI・日本国債は9/28終値。政策金利は米国4.00%、日本1.25%。出所：Trading Economics、FRB、日銀、NYMEX

中間選挙の行方に影響する燃料相場上昇に注意

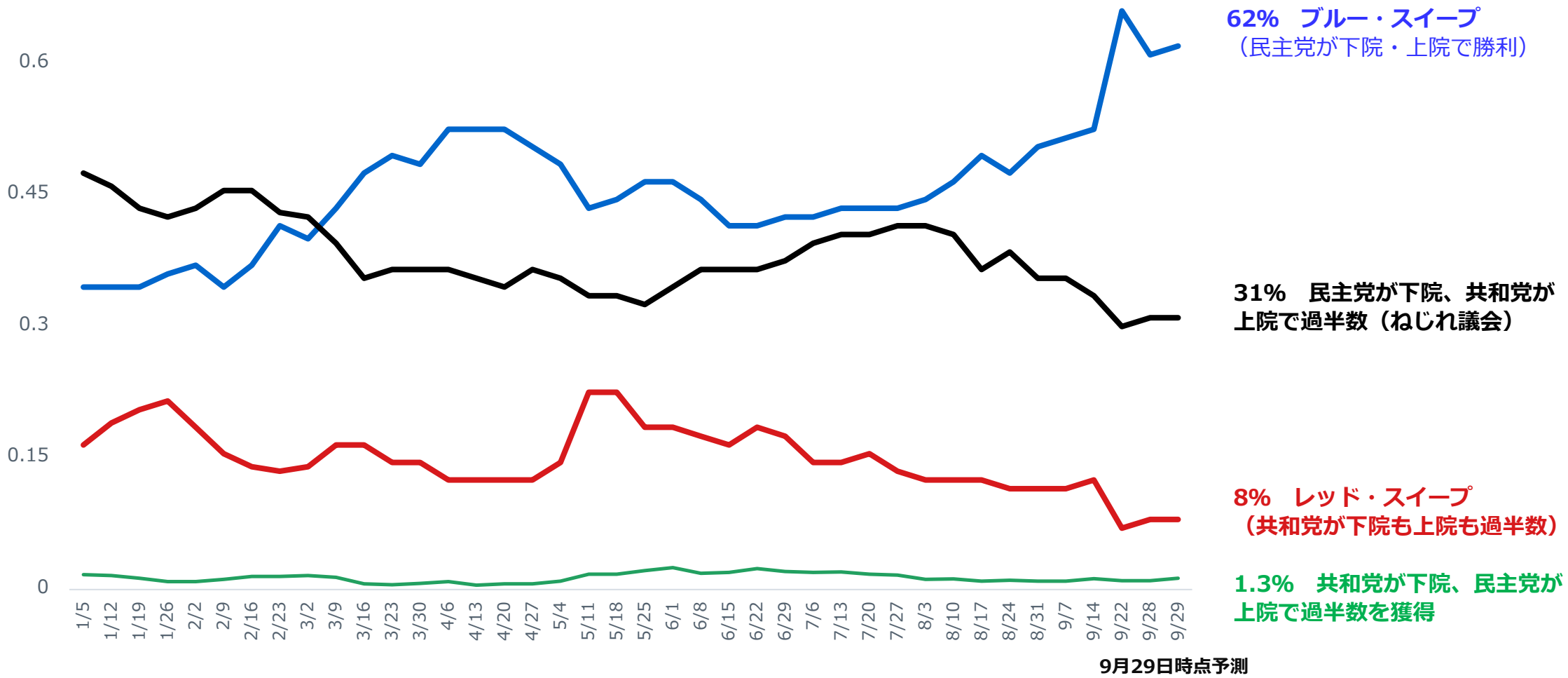
燃料相場動向は、湾岸情勢緊張とウクライナの対ロシア反撃の影響を免れず



注：年初来騰落率は2025年12月29日価格比　出所：米エネルギー情報局（EIA）　｜　9月29日時点の最新公表値（9/21週）

予測市場の中間選挙結果は「ブルー・スイープ」が62%

Polymarket（世界最大の予測市場）は、民主党による上下両院制覇の確率を62%と予想（2024年大統領選では、10月上旬からトランプ氏優勢を織り込み、結果を的中）



出所：Polymarketより作成

中間選挙前の「オクトーバー・サプライズ」はあるか

外交と内政の６案件が、選挙情勢と市場心理を変える可能性はある

イラン停戦合意？



停戦・核合意・海峡解放に至る原油・ガソリン相場に影響

焦点：イランが二次制裁に耐えられるか。ガソリン高騰は共和党支持層に脅威

キューバ合意？



キューバ政権とのディールや緊張緩和を平和裏に演出する

焦点：ヒスパニック票の獲得

緊急国民支援策？



大統領令で家計支援策を総動員する
ガソリン価格補助金・住宅支援・薬価引き下げ

焦点：選挙前に実行力を訴求したいが、財政出動には議会の承認が必要

ウクライナ停戦仲介？



エネルギー施設停戦から和平合意に至るか＝選挙前の外交実績誇示を狙う

焦点：合意崩壊なら仲介外交力に疑問

グリーンランド合意の進展？



米軍拠点増設で北極圏防衛を強化
米国主導でレアアース開発を加速

焦点：中国依存の低下と北極圏の覇権争い

米中合意の進展？



関税・レアアース調達で合意
農産物・ボーイング・ AI 半導体等の輸出拡大で追加合意を連続的に発表する

焦点：共和党支持層など有権者に対中外交の成果を訴求できるか

イラン停戦合意は原油・ガソリン相場の下落要因。キューバ合意はヒスパニック票獲得に寄与。緊急国民支援策は家計負担の軽減を狙う。

注：いずれも現時点で確定していないシナリオ　　出所：各種の報道・情報（2026年9月28日）